

9/4(水) 自分の命を守る大切な学習～避難訓練～



火事や地震などの災害は、思わぬ時に、思わぬ形でやってきます。そんな緊急事態に、『自分の命をどう守るべきなのか?』をすぐに判断し、行動することが大切です。今回の避難訓練を通して、自分の命を守ることの意味を真剣に考え、今後の生活にいかす気持ちをもつことができたと思います。

校内放送で、地震発生情報を静かに聞き、担任の先生の指示で、速やかに避難を開始することができた全校のみなさん。煙を吸わないように、ハンカチで口や鼻を押さえながら移動することもできました。

悪天候のために急きょ変更になった集合場所の体育館。そこには、整然と並ぶ全校のみなさんの姿がありました。その後、地区別(集団下校)の班に並び直しました。会長が中心となって、高学年が下級生に声をしっかりとかける姿が見られました。

校長先生からは、安全な避難に必要なキーワードである『**お・は・し・も**』のお話をいただきました。

また、防火扉を使用しての訓練もありました。安全に移動するためには、どのように扉を通るべきなのかを、よく考えながら学習することもできました。

今回行った避難訓練で学んだことを、実際の生活にいかすことが何よりも大切です。

まさに、『**災害は、忘れたころにやってくる**』です。

